

プロラクチンって？

主に乳腺にはたらくホルモン

1

下垂体前葉から
分泌される



2

乳腺にはたらき、
授乳を助ける



3

妊娠・授乳中に
高くなりやすい



4

ふだんは高すぎない
ように調整されている



授乳に関わることで知られますが、
月経や排卵との関係もあります



プロラクチンが高いと？

❖ 非妊娠時の高値でみられること ❖

1

月経不順



2

排卵しづらくなる



3

乳汁が
出ることがある



4

不妊の一因に
なることがある



5

性欲の低下に
つながることも



❖ 妊娠中・授乳中は、生理的に高くなることがあります ❖

他のホルモンとの関係

--- プロラクチンは月経にも関わる ---



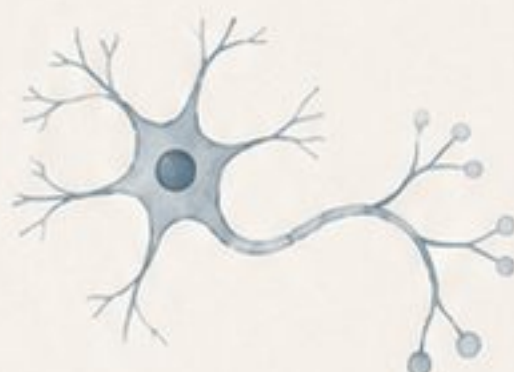
1

プロラクチン高値



2

GnRH が
抑えられやすい



3

LH / FSH が
下がりやすい



4

月経不順・
排卵低下に
つながることがある



TSH や他の
下垂体ホルモンも
あわせて確認

プロラクチン

—— ホルモンの全体像 ——

1 下垂体のホルモン

ACTH / TSH / LH / FSH / GH /

プロラクチン ✨



2 副腎のホルモン

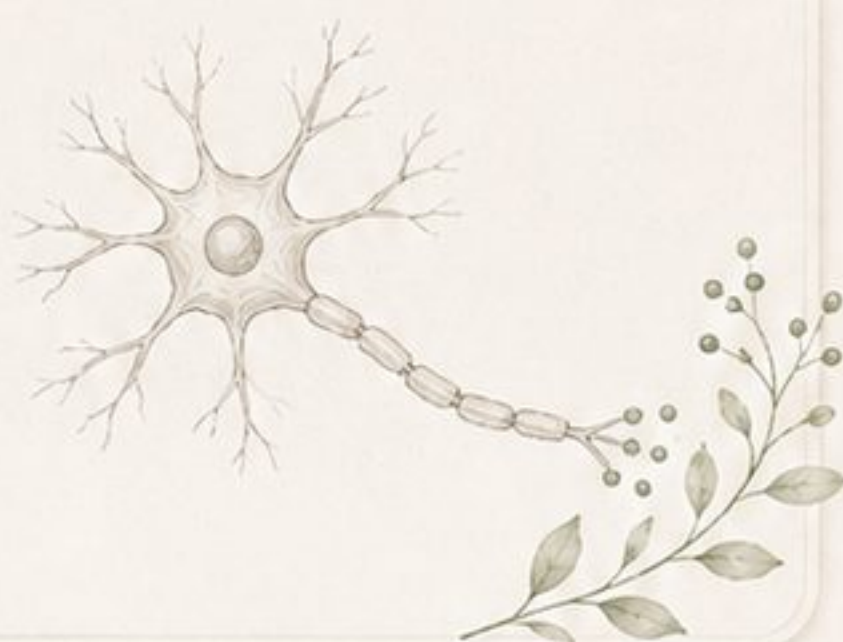
皮質： コルチゾール・アルドステロン・
副腎アンドロゲン

髄質： アドレナリン・ノルアドレナリン



3 主に神経伝達物質

ドーパミン・セロトニン



今回は ① のプロラクチンをみていきます

検査はどうみる？

一度の数字だけで決めない

1

採血で
プロラクチンを確認



基準値と照らしあわせ、
高値かどうかを確認します

2

妊娠・授乳・
ストレスの影響もみる



一時的に上昇することがあり、
背景を確認します

3

内服薬の
影響を確認する



抗精神病薬や制吐薬などで
上昇することがあります

4

必要に応じて
TSHや画像検査も



甲状腺機能や下垂体の状態を
詳しく調べる必要があります

値が高いときは、背景やタイミングもあわせて考えます

まとめ

ひとつの数字を、流れでみる

1

プロラクチンは
下垂体から分泌される



2

ドーパミンが
ブレーキ役になる



3

高値では月経や
排卵に影響することがある



4

検査は背景や
他のホルモンと
あわせてみる



ドーパミンとの関係

プロラクチンにはブレーキ役がいる

視床下部



ドーパミン

(プロラクチン放出抑制因子)

下垂体前葉



プロラクチン

ドーパミンが下がる
→ プロラクチンが
上がりやすい

1

プロラクチンは、
抑えられて
保たれている



2

他のホルモンと
少し違う
調整のされ方



3

薬の影響で
値が変わる
こともある

